

# シカ君 と ウマ君

～ 来週の相場見通し ～

\* No.0020 \*

04 / 12 / 10

発行・編集 FXニューズレター

<http://www.fx-newsletter.com/>

[info@fx-newsletter.com](mailto:info@fx-newsletter.com)

【 12月 13日週 】

ウマ「シカ君、為替相場が大荒れだね。ドル/円が 105 円半ば近くまで一時上昇するなんて、僕はもうビックリだよ！」

シカ「今日の東京タイムのことでしょ？いやいやホントに。それも、榊原元財務官や中川経産相から円高見通し、あるいは容認と取れる発言が出ていたにもかかわらずの逆行高だからね」

ウマ「ホント、ホント。地合いが転換したのか、それとも榊原さんの威光がなくなったのか、どちらにしても薄商いの年内相場はまだまだ波乱含みじゃないの？」

シカ「榊原さんが“ミスター円”などと言われていたところが懐かしいね。僕の知人の現役ディーラーなんて、最近ではスッカリ“曲がり屋”扱いしているからねえ、榊原さんのことをさ(笑)」

ウマ「それって、素直には笑えないけど(苦笑)。ところで、ドルはどのようにして急反騰しているの？」

シカ「なんでだろうね。よく判らないっていうのが正直な感想だけど。一般的には金利差って言われているけどさ。市場参加者の関心が米国の双子の赤字から金利差へ移行している、ってね。でも、個人的にはクリスマスや年末・年始を前にした調整的な買戻しに過ぎないと思うけどな」

ウマ「ふむふむ。そうするとやっぱり一過性のものに過ぎないのかな。ドル高は」

シカ「一過性って言ってもね…。取り敢えず来週は米国で年内最後のFOMCが開催されるし、そこで追加利上げの期待は高いでしょ。仮に利上げがなくてもねえ。来年に入り、追隨的な利上げを実施することはほぼ確実だし、そうするとあまりドルが売られることはないんじゃないかな、とくに年内は。

テクニカルに見ても、移動平均では今年10月半ば以降、約2ヶ月にわたってドルの上値をレジストしてきた21日線(103.70円レベル)を超えてきており、短中期のリスクはドル高・円安へと転換した感を否めない」

ウマ「なるほどな。そうすると、具体的なレンジはどんな感じなの？110円とかまで戻る？」

シカ「110円はちょっと遠いよ(笑)。個人的には107円台半ばから後半程度までの戻りを考えているけどね。ちなみに、107.30円は11月につけた前回の高値だし、107円後半には前述した移動平均の中期90日線も位置している」

ウマ「それでも、まだ2円程度はドルの上昇余力があるわけか…」

シカ「うん。ただ、時間足を見るとね。105円半ばという結構微妙なレベルでドル高も止まっているんだよね(笑)。相場って難しいよね…」

ウマ「突然どうしたんだよ。急にシンミリとして、ビックリさせないでくれよ(笑)。どうしちゃったのさ」

シカ「ごめん。ごめん。残り1枚になったカレンダーを見ていたらさ、今年の年末・年始って、たったの4日しか休みがないじゃない。急に寂しくなっちゃってね」

ウマ「4日って、12月31日と1月1日から3日までってこと？」

シカ「うん」

ウマ「なに言ってんだよ！東京は休場でも海外市場はやっているでしょ。駄目だよ、手を抜いちゃ。“勤勉は美德なり”…」

シカ「よ～し、言ったな。僕の代わりにウマ君に会社してもらおうか。さて、海外で1週間ぐらい骨休みしようかな、僕は」

ウマ「それはないよ…」

(了)

当レターは、情報提供のみを目的としたものです。内容に関して正確であるよう注意を払っておりますが、その正確性を保証することはできません。投資や運用にあたっての最終的な判断は、あ

くまで読者自身の責任と判断によって、ご利用いただくようお願い申し上げます。  
なお、本稿の無断転載・転送もご遠慮ください。

---

Copyright (C) fx-newsletter All Rights Reserved